

製品安全データシート (SDS)

(1/4)

1. 製品及び会社情報

製品名 : カインズバンド
 会社名 :
 住所 :
 担当部門 :
 電話番号 :
 Fax 番号 :
 緊急連絡先 (TEL) : 本社

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	: 可燃性固体	: 分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性 経口	: 分類できない
	経皮	: 分類できない
	吸入 (蒸気)	: 分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (仮復暴露)	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
	水生環境有害性 (急性毒性)	: 分類できない
	水生環境有害性 (慢性毒性)	: 分類できない

3. 組成及び成分情報

成形品。該当する製品は成形品(Article)であり、公的に SDS が要求される化学製品ではありません。
 単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分	含有量(%)	化審法 (安衛法)	CAS No.
天然ゴム系加硫ゴム	70以上	(6) - 748	9003-31-0
二酸化珪素 (シリカ)	1~15	(1) - 548	7631-86-9
鉱油	1~15	製造元で非公開	

4. 応急措置

吸入した場合	: 固形物につき通常では吸入することはないと考えられる。
皮膚に付着した場合	: 危険性はほとんど想定できないが、アレルゲンである天然ゴムを含むため、アレルギー症状が見られた場合は医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 清浄な水で十分洗眼（コンタクトレンズを着けている場合は外して）する。異常が見られた場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 嘔吐させた後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置

消火剤	: 初期火災は水、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器、防火砂等を用いる。大規模火災の場合は、水、泡で一挙に消火する。
特定の危険有害性	: 燃焼又は熱分解により有害ガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、二酸化炭素等）が発生する。
特定の消火方法	: 有害ガス発生の可能性があるため、防毒マスク等を着用する。
消火を行なう者の保護	: 火災の規模に応じ、自給式呼吸器及び防火用保護服等の保護具を着用する。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項	: 常温において安定なため、人体に危険な漏出の可能性はない。
環境に対する注意事項	: 常温において安定なため、環境に危険な漏出の可能性はない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	: 着火源のない場所での通常の取り扱いでは火災や爆発を起こす可能性はなく局所排気の必要もない。 ポリ塩化ビニル製品のような油性成分を含む製品と長期間接触させるとゴムの劣化が早まり、くっついて離れなくなることがあるので注意する。 また、屋外での使用はゴムの老化を早めるので、避けたほうがよい。 銅により劣化が促進されるので銅製の器具との接触を避ける。
保管	: 直射日光、高温多湿、溶剤の雰囲気、火気を避けて屋内に保管する。 空気中のオゾン、酸素により劣化するので紙袋又は黒いポリエチレン袋に詰めてダンボールに入れることが好ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 加熱する時は、局所排気すること。
許容濃度	: 設定されていない。
保護具	: 通常の使用においては必要ないが、特殊な使用の場合には保護手袋等の適切な保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 固体
形状	: リング状
色	: アメ色
臭い	: 微臭（ゴム臭）あり
融点	: 知見なし
比重	: 約 1.0
溶解性	: 水に不溶、ガソリン系の溶剤に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	: 一般的な貯蔵や取り扱いでは安定である。
発火点	: 350℃
反応性	: なし
可燃性	: あり (消防法指定可燃物)

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
感作性	: アレルゲンとなる天然ゴムを含有するため、体質によってはかゆみ・かぶれ・発疹等を起こすことがあり、異常を感じたら皮膚への接触を中止し医師の診断を受ける。
慢性毒性	: 情報なし
変異原性	: 情報なし
感作性	: 情報なし
刺激性	: 情報なし

12. 環境影響情報

移動性	: 情報なし
残留性／分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
生体毒性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

焼却処理	: 大気汚染防止法に適した焼却設備により焼却する。
埋め立て処理	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って処理する。 焼却又は埋め立てをする場合は、法令と都道府県及び市町村の条例・規則に従って処理する。

14. 輸送上の注意

国連分類・番号	: 該当しない
国内規制	: 該当しない
輸送の安全対策	: 荷崩れのないように積み込み、水濡れを防止する。

15. 適用法令

消防法	: 3,000kg以上の貯蔵は、消防法の指定可燃物 (合成樹脂類 その他のもの) に該当する。
-----	---

16. その他の情報

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料・データに基づいて作成しましたが、新しい情報により改訂することがあります。

本 SDS に記載しました注意事項は通常取り扱いを対象にしておりますので、特殊な取り扱いをされる場合は、その用途に応じた安全対策を講じて使用して下さい。

また、SDS の記載内容については十分注意しましたが、この記載内容を保障するものではありません。

作成：2018 年 2 月 13 日
